

平成25年度学校評価アンケートの集計結果について

宮城県角田高等学校

今年度も実施いたしました「平成25年度学校評価アンケート」の結果をご報告いたします。今年度、414名の保護者の方からご回答をいただきました。回答率は、昨年度より若干改善しました。皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

さて、今年度も、県統一の共通質問項目でのアンケート実施となりました。その中で、「いじめ問題」についての学校の取組方針について問いかける質問項目が新たに設けられました。今回のアンケートの結果は、本校の教育活動の改善とともに、県全体でも集約されて県全体の改善にも資するものです。

以下は、アンケート概要と集計結果、ならびに分析となります。

1. 実施期間 …………… 平成25年8月29日(木)～9月12日(木)

2. 保護者アンケート回答率 … 77.7% [414名]

3. 調査項目および集計結果

	調査項目 ※[]内は、生徒に対するもの	よく当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
1	お子さんの[生徒にとって、]学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	9.3% [9.5%]	69.8% [58.6%]	19.5% [27.0%]	1.4% [4.9%]
2	生徒に対して[生徒にとって]、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	18.5% [24.3%]	63.3% [55.2%]	16.5% [18.2%]	1.7% [2.3%]
3	お子さんの[生徒にとって、]進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	19.5% [22.2%]	62.8% [59.2%]	16.3% [16.3%]	1.4% [2.3%]
4	生徒に対して[生徒にとって]、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	17.1% [26.6%]	66.3% [50.0%]	15.9% [18.7%]	0.7% [4.7%]
5	学校として、部活動は活発に行われている。	43.1% [44.5%]	47.0% [43.8%]	8.0% [8.6%]	1.9% [3.1%]
6	学校として、生徒会活動は活発に行われている。	15.8% [22.7%]	72.9% [55.5%]	10.1% [17.7%]	1.2% [4.1%]
7	お子さん[自分]にとって、有意義な学校行事がある。	24.3% [27.2%]	60.4% [47.4%]	13.8% [20.4%]	1.5% [5.0%]
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	14.6% [14.9%]	55.6% [50.9%]	27.4% [30.7%]	2.4% [3.5%]
9	保護者[生徒]に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	25.5% [21.3%]	52.6% [54.8%]	19.2% [20.0%]	2.7% [3.9%]
10	保護者に対して、学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている。	24.4% [29.5%]	56.7% [56.1%]	16.7% [12.8%]	2.2% [1.6%]
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	18.7% [18.5%]	63.1% [50.5%]	15.8% [21.5%]	2.4% [9.5%]
12	学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている[日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる]。	7.8% [14.0%]	47.1% [53.0%]	39.7% [25.0%]	5.4% [8.0%]
13	お子さんの[自分にとって、]学校生活は充実している。	31.4% [27.0%]	57.5% [50.9%]	9.9% [17.9%]	1.2% [4.2%]

※ []内は、生徒の回答結果である。

4. 保護者のアンケート集計結果から

今年度から、Q12のいじめ問題に関する質問が付け加われました。この項目の回答は、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の二つを肯定的回答、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の二つを否定的回答と二分化するならば、それぞれ54.9%と45.1%と評価が拮抗しました。学校では、生徒に対して「いじめのアンケート」を実施するなど、早期発見に努めてきましたが、今後も継続的に実施して参ります。

さて、回答について全体的な傾向を見ていきますと、前述の二分化による傾向は、肯定的回答が全質問項目の平均で80.4%に達しており、昨年度より3.7%上昇しました。その理由としては、二つの質問項目で変化が見られたためです。第一は、「災害・非常時の避難方法や連絡方法」についてです。この件に関しては、昨年度より「一斉メール配信システム（Kメール）」のほか「災害時帰宅確認カード」を導入した結果によるものと受けとめております。「Kメール」に未登録の方は、是非、登録をお願い致します。第二は、「学校便りなどによる情報発信」についてです。昨年度と比較しますと、「よく当てはまる」が約10%アップし、その分「あまり当てはまらない」が約10%減少しました。本校の「角高だより」などによる情報発信を評価いただいたものと考えております。その他の質問項目では、大まかな傾向としては、昨年度までの割合とほぼ同様の結果でありました。Q2～7、10、11、13の9つの質問項目で、肯定的回答が80%を超えており、こうした評価を踏まえつつ、日々の教育活動に活かして参ります。

自由記述欄については、部活動指導・学習指導・生活指導等に関するご意見をお寄せいただきました。全職員が情報を共有化して、それらの改善に努めて参ります。ところで、自由記述の中に、「質問項目がわかりにくい」、または「答えづらい」といった記述がありました。質問項目については、すべての県立高校で共通の質問項目で実施しているものですので、その点をご理解をお願いします。今後とも保護者の皆様に回答していただけるように、学校の様子をさらに伝えていく情報発信を心がけて参ります。

5. 生徒のアンケート集計結果から

生徒のアンケートの割合につきましては、今年度も保護者の皆様からの回答と同じような傾向が見られます。

Q13「学校生活は充実している」については、昨年同様に7割以上の生徒が肯定的な回答をしています。「よく当てはまる」の回答が27.0%と、若干ですが向上しています。しかし、一方で2割強の生徒が否定的な回答をしている点を忘れずに、生徒一人ひとりの現状を把握して、充実した学校生活を送ることができるように努めていきたいと考えております。

Q1、8、11、12について、否定的回答が30%を超えている中で、Q1の「学ぶ意欲、学力の授業」で31.9%が否定的回答である点は、しっかりと受けとめる必要があらうかと考えております。本校では、他校に助言者を依頼して研究授業等を行う「授業研究会」も、毎年、継続的に開催してきましたが、今後もより良い授業を念頭に研鑽に努めていく所存です。

6. 終わりに

保護者の皆様、生徒諸君のアンケートへのご協力に感謝を申し上げます。今後も、学校に対して率直にご意見・ご要望等をお寄せいただきたいと思います。